

平成27年度 大分県高校野球指導者研修会

平成27年12月19日（土）、20日（日）の2日間、大分県高等学校野球指導者研修会を開催いたしました。本研修会は、「強い大分の復活」をめざして県内高校野球指導者の指導力向上と加盟校のチーム力向上を図るために毎年実施しております。

今年度は、「打撃力」をテーマに、1996年のアトランタオリンピックに出場し銀メダルの獲得に貢献された、武相学園高等学校野球部前監督の桑元孝雄氏をお招きしました。

1日目は、大分銀行赤レンガ館にて、県内の高校野球指導者を対象に「打者の育て方 バッティングの作り方」と題し、桑元氏の選手そして指導者としての豊富な経験談を交え、バットを片手に「構えからスイングまでの動作」「両腕の使い方」など非常にわかりやすい講演を聴かせていただきました。

2日目は、大分県立大分南高等学校のグラウンドに会場を移し、加盟校の代表スラッガーに対し直接バッティングの指導をしていただきました。天候にも恵まれ、参加した生徒たちは「一球目から全力で振る準備をすること」「特に、左打者はかかと体重になりやすいため爪先体重を意識すること」「ポイントを前に置きセンター中心に打ち返すこと」等、教わったことを確認しながら取り組んでいました。各校のスラッガーが集結していることもあり、お互いが刺激し合い有意義な1日となったようです。

今回の研修会では、2日間で200名を超える指導者と選手が参加いたしました。桑元氏のご指導により、本県から全国レベルのスラッガーが育つことを期待しています。

【開講式】

後藤雅宏高野連会長より



井上倫明体育・スポーツ振興監より





【12月20日実技】







桑元先生のご講演の後、平成26年度甲子園塾（日本高野連主催）に参加された大分舞鶴高校の安部部長が還流報告を行いました。副委員長の山下智茂先生を中心とした講師の先生方から、指導者としての心構えや技術面での指導方法など、学んできたことを報告していただきました。



平成27年度 大分県高校野球部マネージャー研修会

平成27年12月20日（日） 大分県立大分南高等学校会議室にて、今回初めての試みとして大分県高等学校野球部マネージャー研修会を実施いたしました。

今回の研修会には、平成28年の秋に大分県で開催される九州大会での球場アナウンスの向上を目指して、1年生のマネージャーを中心に26校(硬・軟)58名のマネージャーが参加いたしました。

講師に、30年近くにわたり、放送部顧問として県内の高校生のアナウンス・朗読指導に携わってこられた河室千春先生(現由布支援学校教諭)と、インターハイ開会式総合司会や様々なコンテスト等で数多く入賞されている吉良奈菜子さん・河野真歩さん(ともに学生)を迎え、アナウンスの基本をわかりやすく、そして優しく教えていただきました。

講師の先生方の素晴らしいアナウンスを聞き、お手本にしながら、実際に発声練習をしたり、難しい選手名や学校名を練習したりと楽しみながら一人一人が熱心に学び、今回の研修会を終えることができました。また、映像やお話の中で、マネージャーのあり方なども説いていただき、生徒が考える良い機会になったと思われます。

今回の研修会を通して、母校の伝統・先輩から受け継いできたことなども大事にしながら、観客や選手が聞き取りやすい、聞いていて気持ちが良いアナウンスが出来るように、他のマネージャー業も疎かにせず、取り組んでほしいと思います。

【開講式】

河室千春先生より







マネージャー代表謝辞

